

# Sports Net

## ちば 2019年6月号

New Japan Sports Federation in Chiba Prefecture

2019年6月1日

「スポーツは平和とともに」  
新日本スポーツ連盟千葉県連盟  
〒263-0024 千葉市稲毛区穴川3-1-17  
Tel 043-287-7353 Fax 043-256-1454  
URL <http://njsf-chiba.perma.jp>  
E-mail [njsf1970chiba@gmail.com](mailto:njsf1970chiba@gmail.com)  
発行人 園川 峰紀  
通巻 206号

# 2年ぶりの王座奪還! JREASTランナーズ

## 〜第17回千葉・青葉の森リレーマラソン〜



優勝したJREASTランナーズの皆さん

5月19日（日）雲間から漏れる日差しに真夏を思わせるなかで今年も千葉市・青葉の森公園内特設コースで県内外から2000名を越えるランナーが集う「第17回千葉・青葉の森リレーマラソン」が開催されました。

受付開始と同時に多くのチームが殺到しましたが、熟練のスタッフのお陰でスムーズに進行。予定時間内で全チームが登録手続き完了。

常に上位を狙うチームはピリピリしたムードが漂い、初参加のチームはちょっぴり緊張気味、リピーターのチームは自分達のチームの実力を知ってかのんびりムード?!とチー

ムの態様は様々。

当初224チームのエントリーでしたが3チームが当日棄権。221チーム・2400名余の参加と相成りました。

午前10時!スターターの号砲一発。221チームの第1走者がスタート。リレーマラソンの幕が切って落とされました。

レースは第1走者から「JREASTランナーズ」がトップの座を譲らず、2位以下を1分半から2分の差を終始保ち優位にレースを展開。

昨年優勝の「千葉韋駄天アスリート・風神」を抑え、2年ぶりの優勝の栄冠に輝きました。



因みにフィニッシュタイムは2時間7分 52秒。  
大会記録の2時間7分6秒（第11回・14回大会・轟アスレチッククラブ）には若干及びませんでした。唯一・2時間一桁台をマーク。他チームを寄せ付けない力をみせてくれました。

そして殆どのチームは制限時間内に完走。どのチームもこぼれんばかりの笑顔でのフィニッシュが印象的でした。

優勝チームキャプテンにマイクを向け勝因を聞くと「チーム全員の力が一つになったのが勝因です。」「キャプテンの統率力もあったのでは？」とのMCの問いに、はみながらも「そうですね！」来年以降も上位に来ることは間違いなし！と感じた優勝インタビューでした。

一方、惜しくも2位となった風神・監督「連覇をねらっていたのですがJR EASTさんの総合力に負けました。来年は必ず巻き返します。」と力強い返事が返ってきました。

さて、今回も会場内で可能な限り参加チーム



へのインタビューを試みましたが、そんな中で印象に残ったのはチームの要になっているとっても若々しくチャーミングなおばあちゃん。何と9

2歳。「若い方達と居ると楽しいですね。私は走れないけど走るって楽しいですね！」このチーム以外にも会場内のアチコチでインタビューする度に「楽しいです！来年も参加したい！」との声が聴くことが出来ました。

リレーマラソン数々あれど青葉の森大会がラ



空飛ぶゴール

ンナーから好評を得ているなんたるかを感じ「参加者に喜ばれる大会運営をしなくっちゃ！」と改めて思いを強くしました。

最後になりますが審判・コース監視と大会運営に協力頂きたいみ皆さんに感謝申し上げます。

特にフィニッシュで活躍してくれた高校生の皆さんの献身的な動きに感謝！感謝！



エプロンにおたま 子供たちの声援が後押し

左のQRコードを読み取ってください。成績表(PDF)のページにリンクしています。



総合 6 位までの成績

順位	No	チーム名	記録	部門
1	4	JR EASTランナース	2:07:52	クラブ
2	3	千葉韋駄天アスリート 風神	2:10:00	クラブ
3	10	海浜地区韋駄天ランナース	2:15:52	クラブ
4	7	千葉韋駄天アスリート 雷神	2:16:02	クラブ
5	9	富津合同練習会 A	2:17:48	男女混合
6	11	浦安ランナースクラブ	2:20:15	クラブ

マナーも最高 参加者みんなで作る大会

# 第41回 春のバレーボールフェスティバル大会

第41回 春のバレーボールフェスティバル千葉県大会が5月6日（月祭）、5月11日（土）及び12日（日）に千葉公園体育館、千葉市花島運動公園体育館及び宮野木S/C体育館にて開催されました。

この大会の男女上位チームは7月21日、22日に千葉県総合運動公園体育館等で催される関東大会への予選大会でもあります。

今大会男子の部は、A,B,C各予選リーグの勝敗で決勝トーナメントのシード決めを行い、決勝トーナメントには参加全チームが進出出来る様な大会形式としました。

5月6日、11日の予選リーグには、男子チームが9チーム、女子チームが4チーム参加して大会がスタートしました。

その結果、予選リーグ1位のZOO、清球会、KTAGの3チームがシード枠に入り、その他のチームは予選リーグの順位でトーナメント表に振り分けられました。



優勝したZOO

決勝トーナメントではシード3チームの中、ZOOが予選リーグB2位の松戸ダイヤモンドに順当勝ちをし、まず関東大会枠のベスト4

に名乗りを上げました。

続いて、清球会が予選リーグC3位のAndoromedaに接戦の末に勝利し、ベスト4入りました。

予選リーグ1位のもう1チーム、KTAGは、決勝トーナメント1回戦で八街排球倶楽部を僅差で破ったRORAにストレート負けを喫する波乱があり、RORAが3番目のベスト4入りを果たしました。

最後のベスト4には、予選リーグC2位のLv1とA3位の健友会が対戦し、Lv1がベスト4になりました。

この時点で、千葉県大会ベスト4「ZOO」「清球会」「RORA」「Lv1」が7月に行われる関東大会の千葉県代表として県協議会より推薦が受けられる事となりました。

大会の方は、予選リーグA1位のZOOが今大会の勢いを落とさず優勝し、2位にはやはり予選リーグB1位の清球会となりました。



女子優勝の健友会

3位にRORA、Lv1となり、第41回春のバレーボールフェスティバル千葉県大会男子の部も無事終了致し

ました。

女子の部は、日程的に1日大会となりましたので、参加4チームのリーグ戦とし、その順位が大会順位となります。

その結果、1位は2戦2勝の「健友会」、2位はやはり2戦2勝で得失点差で「Flap」、3位は2戦2敗ながら得失点差で「ING」、4位に「EVL」となりました。

また、参加4チームは、女子の関東枠が4つあることから、全てのチームに関東推薦が得られ事になりました。

今回の大会を振り返って、やはり1番に感じる事は、参加チームのレベルの高さです。

それは、チームの強さだけではなく試合に臨む意識やスポーツに対する意識が高く、その真摯な行動に感銘を受ける程です。

来る7月に催されます関東大会では、その様な千県代表の男女チームが上位を占められる様に頑張って来て欲しいと思っています。

最後に、各参加チームとも試合中のマナーはもとより、大会運営に関しても準備から撤収まで率先して協力をして頂き、滞り無く大会を終える事が出来ました。

役員を代表して御礼を申し上げます。

千葉県バレーボール協議会  
会長 吉川 明

# 春季卓球大会」で今期オープン

## 千葉県卓球協議会

球春を待ちかねた老若男女が集まり2019年度の卓球大会が始まりました。今年度は全国大会予選をはじめ、8つの卓球大会と3回の卓球教室が開催されます。

第1回目大会「春季卓球大会」は4月29日（日）千葉公園体育館にて男子23チーム女子30チーム240名の参加で開催されました。

今回の団体戦は「2ダブルス3シングル」という方式で行われました。これは全国大会「一般の部」で行われている方式で新日本スポーツ連盟だけが採用している独特の方式です。新日本スポーツ連盟が企画している「ペアマッチ（2人団体戦）」同様人気のある試合方式です。

男子は5ブロックに分かれ予選リーグを行い、順位が決まったところで、次は順位別リーグ戦という方式、女子は6ブロックに分かれ予選リーグを行い順位が決まったところで順位別トーナメント方式という方法で大会が進められました。

これも一日満足のいくまで試合が楽しめるというスポーツ連盟ならではの工夫された運営です。

男子1位抜けリーグの優勝チームは鎌ヶ谷チームの「CRAFT（クラフト）」。クラフトは全国ランカーも所属しているという強豪チームで千葉県での大会は初参加。

女子1位抜けトーナメントの優勝チームも初参加チームの「おもてん」。

男女とも白熱した戦いが続き最終者までもつれ込み大きな声援が会場を包み込んでいました。

随所に見られる強烈なドライブやスマッシュ、強打に対するブロック、カットマンの華麗なプレーなどなど優れたプレーに拍手が続きました。

沢山の若者が参加している中で、高齢者チームの「卓初会」「みつわ台クラブ」も元気に強豪チームに挑戦している姿が印象的でした。

因みに、参加者から充実した大会冊子の称賛の声が寄せられました。「大会参加者の名前まできちんと乗せられている」等。

役員を代表して御礼を申し上げたいと思います。



男子1位リーグ優勝  
CRAFT



男子4位リーグ優勝  
どんぐり



女子1位トーナメント優勝  
おもてん



女子3位トーナメント優勝  
中央クラブ



女子5位トーナメント優勝  
あんず



大会結果はこちらからも



## 常任理事会報告

5月22日（水）県連盟事務所第3回の常任理事会が開催されました。

スポーツのひろばの読后感想では、今話題のスポーツ栄養学について、様々な取り組みがある事が話題になりました。

会議前半の報告関係では、各協議会の大会の進行状況に加え、2020年開催の全国スポーツ祭典に向けての関東ブロックでの協議内容等について出席した園川理事長から報告がありました。

また、今年の総会で提起のあった「各協議会との懇談」について、出席した田久保・本田両副理事長、竹村理事から懇談内容について報告があり、今後の懇談会の持ち方などが話し合われました。

報告に続き、以下の内容について協議・討議が行われました。

- ・全国連盟主催のプログレス会議（旧組織集会）の参加について、佐々木事務局次長の出席と各協議会への呼びかけが確認されました。
- ・全国スキー協及び神奈川スキー協50周年記念のし

セブションについて参加する旨がスキー協から出されました。

- ・ホームページの現状と見直しについて  
4月からレンタルサーバが変更になった事に伴い、HPをリニューアルしたが、以下の問題を抱えている。各協議会に協力を要請する。
  - ①アクセス数が少ないので検索エンジンにヒットしない。個人レベルでも構わないのでアクセスしてもらいたい。
  - ②各協議会のページに掲載する内容や原稿が少ない。
  - ③独自のHPを持っている協議会でもいきなりリンク先に飛ぶのではなく、メインのページを作った方が良いのではないかと。
- ・陸上競技大会について  
天台の陸上競技場が改修のため使えなくて、青葉の森陸上競技場で開催する事になるが、公認の目処が立たない。
- ・県連盟50周年記念事業については、有名人を呼びより長く関わってきてくれた人の話を聞いた方が良いのではないかと。
- ・県連盟役員と各協議会役員の懇談会は継続していきたいでしょう。

## スポーツアラカルト

最近、高齢者ドライバーが原因の車両事故が多発し社会問題となっています。

実は小生、昨年末に20才で取得した免許証を丁度50年（半世紀）の区切りとして更新時に自主返納しました。

4年前に車を処分し、運転する機会もなく、家族からの説得もあり決断しました。

警察署の受付窓口で申請書の提出時に「本当に返納しますね？」と再確認された時、30年近く、年間6万キロ走行し、無事故・無違反表彰も受け運転には自信もありましたが、分身ともいふべき免許証がその瞬間に無くなる現実と私の人生が消滅するような気持ちになったことは今も鮮明に憶えています。

テレビのワイドショーなどでこの問題が放映される度に「返納してよかった」と思います。

有名なカーレーサーの言葉があります。「日本人が自動車という乗物を操作するようになって100年余り。その運転技術の遺伝子は3世代に過ぎないので。

それまでは、精々牛・馬に乗る程度だったの

です。」

年齢を重ねると確実に咄嗟の判断・対応力が衰えます。車庫入れがスムーズにできない、ブレーキのタイミングが遅れる、一瞬目を離してハットする等々、どなたにも思い当たることありますよね？ これはもはや注意信号です。

車が無いと日常生活が不便でまた活動エリアが狭くなります。公共交通機関を利用する日常を過ごしています。多少不便を感じることもありますが、それは、それで新しい発見もあります。

卓球の試合で朝のラッシュ時に大きなリュックで満員電車に乗る時、若いころの私と同じく現役の皆さんの迷惑そうな表情。どうしても車での移動が必要な時に卓球仲間に同乗をお願いする心苦しき等々。

しかし元気寿命は長くても後10数年です。人の命を奪うことなく人様に最小限の迷惑での生き方をお許し願いたいと思う昨今です。

卓球協議会 山口 順



# SPORTS CALENDAR

## 6月

- 6月 1日 (土) 祭典・卓球大会 団体戦  
6月 2日 (日) 野球協議会リーグ戦  
第12回なのはなテニス大会  
サッカー協議会リーグ戦  
6月 8日 (土) 男女別2ペアチーム対抗テニス大会  
6月 9日 (日) 野球協議会リーグ戦  
6月13日 (木) 卓球教室  
6月16日 (日) 野球協議会リーグ戦  
6月21日 (金) 月例ウォーキング  
6月22日 (土) 第12回なのはなテニス大会  
6月23日 (日) 野球協議会リーグ戦  
6月30日 (日) 野球協議会リーグ戦  
混合2ペアチーム対抗テニス大会



## 7月

- 7月 7日 (日) 野球協議会リーグ戦  
祭典・テニス大会・混合ダブルス  
7月14日 (日) 野球協議会リーグ戦  
シニアテニス大会・男子・壮年女子W  
7月15日 (月・休) 野球協議会リーグ戦  
シニアテニス大会・女子・壮年男子W  
7月20日 (土) チーム対抗テニス大会・男子・女子・混合  
7月21日 (日) 野球協議会リーグ戦  
反核平和マラソン (千葉市内)  
7月28日 (日) 野球協議会リーグ戦  
東日本サッカー大会 (青葉の森競技場)



## 韋駄天は何を思う!

今年放映中のNHK大河ドラマ「いだてん」は、主人公の金栗四三（かなくりしろう）氏が1912年（明治45年）「第5回ストックホルム・オリンピック大会」に日本人初のオリンピック出場を果たしたものの残念ながら途中棄権という結果に終わり、四年後の1916年（大正5年）のベルリン・オリンピックを目指して日々走ることに全精力を注いでいる姿を描いています。

しかしながら1915年（大正5年）に“ヨーロッパの火薬庫”バルカン半島で勃発した第一次世界大戦の長期化により大会中止となっしまい、同氏の努力は雲散霧消となっしまいました。失意のどん底に沈んだその姿に、今からおよそ40年前の1980年（昭和55年）旧ソ連・モスクワで開催される予定だった「第22回モスクワオリンピック大会」をボイコットした時に選手としてピークを迎えていたアスリート達の姿とだぶってしまった。

第1次世界大戦で中止となったオリンピック大会は、その後も1940年（昭和15年）に東京で迎える予定であった「第12回東京オリンピック大会」は、日本が中国大陸に侵略戦争を仕掛け泥沼状態となっ

## ～～平和が一番!～～

たことから中止となった歴史をもっています。「幻の東京大会」とよばれるゆえんです。

第2次大戦後、日本がオリンピックに参加を認められたのは1952年（昭和27年）「第15回ヘルシンキ大会」からです。平和の祭典と呼ばれるオリンピックですが、ことほど左様に戦争の影響を強く受けています。

時あたかも先の東京大会（1964年）から凡そ半世紀後の2019年。「2020東京オリンピック・パラリンピック」に向け日本中が興奮に向かっていますがこのような暗い歴史があったにも思いを馳せてもらいたいものです。平和でなければスポーツは楽しめないものです。

今草葉の陰で「いだてん氏」は何も思っているのでしょうか？ドラマでも同氏が呟いています「戦争なんてどうしてやるのか！」

駅伝・市民マラソン全盛の今、やはり「平和が一番」と思いを強くする番組です。



理事長の独り言